



エコアクション 21 環境経営レポート

対象期間 2020年5月1日～2021年4月30日

発行日 2021年6月22日

HP <http://www.utsugi-metal.com/>

1. 会社概要

- 1) 事業所及び代表者名
株式会社 宇津木金属
代表取締役 宇津木大輔

- 2) 所在地
本社：
〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 2-20-3
電話 049 (284) 1172
工場：
〒350-0161 埼玉県比企郡川島町長楽 219
電話 049 (297) 7882

- 3) 設立、資本金
設立：平成 11 年 7 月 22 日
資本金：3500 万円

- 4) 事業規模

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
産廃処理量 (t)	919	1,083	1045
非鉄金属リサイクル量 (t)	589	530	535
鉄リサイクル量 (t)			496
売上 (百万)	272	311	320
従業員数 (名)	9	10	12

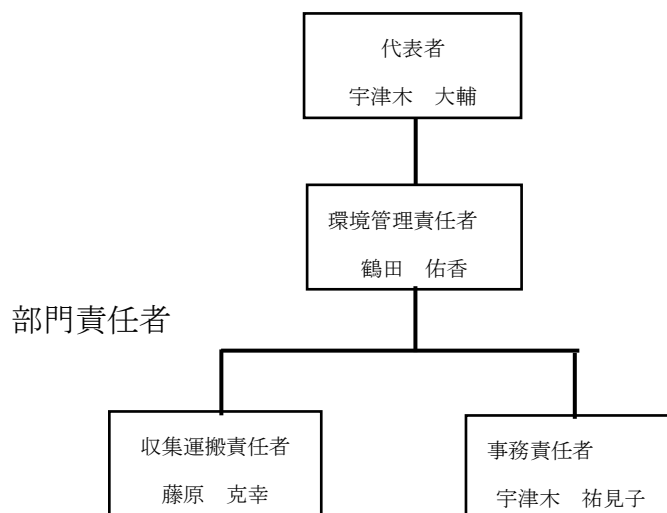
※従業員数内訳

役員 3 名
社員 5 名
パート (週 3 日) 8 名 ÷ 2 ⇒ 4 名

5) 認証登録範囲

全組織・全活動を範囲とする

6) 環境管理組織図



役割	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針の制定・誓約及び従業員への周知 ■環境管理責任者の任命 ■環境経営資源の確保 ■全体の取組状況の評価と見直し並びに指示 ■実施体制の見直しを毎年実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■EA21 活動全般の構築・運営 ■EA21 の実施状況を経営者に報告
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の策定・実施 ■適用される法的要求事項の遵守
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の実施

7) 事業内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・非鉄金属回収及び販売業
- ・機械設備搬入搬出業

廃棄物許認可内容

事業区分	区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01106064001	平成 11 年 10 月 4 日	令和 5 年 6 月 21 日
産業廃棄物収集運搬業	東京都	13-00-064001	平成 11 年 9 月 17 日	令和 5 年 9 月 1 日
産業廃棄物収集運搬業	千葉県	01200064001	平成 12 年 3 月 8 日	令和 9 年 3 月 7 日
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	01403064001	平成 14 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
産業廃棄物収集運搬業	群馬県	01000064001	平成 12 年 11 月 9 日	令和 8 年 9 月 23 日
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00900064001	平成 12 年 2 月 23 日	令和 9 年 2 月 22 日
産業廃棄物収集運搬業	茨城県	00901064001	平成 12 年 3 月 7 日	令和 9 年 3 月 6 日
産業廃棄物収集運搬業	新潟県	01509064001	平成 27 年 8 月 19 日	令和 9 年 8 月 18 日
産業廃棄物収集運搬業	長野県	2009064001	平成 27 年 7 月 14 日	令和 9 年 7 月 13 日
産業廃棄物収集運搬業	山梨県	01900064001	令和 3 年 1 月 27 日	令和 8 年 1 月 26 日
再生資源回収事業者	全国	第 N11K-01019 号	平成 23 年 7 月 16 日	令和 5 年 7 月 15 日
古物商	埼玉県	第 431130031898 号	平成 27 年 4 月 27 日	—

都道府県	廃プラ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	ガラスコンクリートくず	鉱さい	がれき類
埼玉県	◎	○	○	○	○	—	◎	○	◎
東京都	◎	○	○	○	○	○	◎	—	◎
千葉県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
神奈川県	◎	○	○	○	○	○	◎	○	◎
群馬県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
栃木県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
茨城県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
長野県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
新潟県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
山梨県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎

◎石綿含有（アスベスト）を含む

8) 登録車輛

車体形状	最大積載量	台数
クレーン	2.25 t	1
パワーゲート	3.1 t	2
パワーゲート	3.35 t	1
パワーゲート	3.0 t	1
平ボディ車	0.8t	1
クレーン	4.45t	1
バン	1.25t	1

2. 環境経営方針

【環境理念】

私たちは3世代先のゴミを片付けています。

かけがえのない地球を未来に引き継ぐことが、人類共通の重要課題であることを認識し、全社員一丸となって企業活動のあらゆる面で地球環境保全に配慮します。

【行動指針】

環境保全推進体制を構築し、下記の行動方針を定め積極的な取り組みを推進します。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ トラック燃費の向上
2. 環境関連法規ならびに当社が同意した協定その他を遵守します。
3. 環境方針等必要な情報は公開し、社員一人一人に周知します。
4. 地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力します。

制定日：令和3年5月1日

株式会社宇津木金属
代表取締役
宇津木 大輔

3. 環境経営目標・計画

3-1 目標（中長期）

《売上の増減に係りのある項目》 売上金額1億円あたりで算出

環境目標		基準年実績 2019年	2020年	2021年	2022年
CO2削減※1	kg-co2/億		-1%	-2%	-3%
		32,651	32,324	31,997	31,671
ガソリン	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		3,940	3,900	3,861	3,821
軽油	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		8,437	8,352	8,268	8,183
廃棄物	Kg/億		-1%	-2%	-3%
		2,540	2,514	2,489	2,463

《売上の増減に係りのない項目》

環境目標		基準年実績 2019年	2020年	2021年	2022年
電力	kwh		-1%	-2%	-3%
		8,896	8,807	8,718	8,629
水	m ³		-1%	-2%	-3%
		70	69	68	67
トラック燃費	km/ℓ		1%	2%	3%
		6.9	6.96	7.03	7.1
グリーン購入※2	品目		40%	45%	47%
		9/22	10/22	11/22	12/22

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の平成30年0.455kg-CO2/kWhを使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

3-2 計画

	取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力
	1) 不要電気の off
	2) 冷房 28℃、暖房 20℃
	3) LED 照明への切り替え
	4) 節電の表示
	化石燃料
	1) エコドライブの推奨
	2) トラックの定期整備
	3) 走行距離の定期チェック
	4) 空気圧の定期チェック
廃棄物排出量削減	1) 有価物、廃棄物の分別
排水量削減	1) 洗車時の出しっ放し防止
	2) 節水の表示
グリーン購入	1) 事務用品のグリーン購入
	2) 該当品目の調査
	3) 他社の調査
トラック平均燃費の向上	1) エコドライブの推奨

4. 結果・評価

(集計期間：2020年5月1日～2021年4月30日)

目標項目	単位	目標・実績・評価				
		基準年	目標・実績			
		2019年度 5～4月	2020年度 5～4月			
		実績	目標	実績	結果	評価及び次年度の対策
売上の増減に関係のある項目 (売上金額1億円あたりで算出)						
CO2排出量削減	kg-co2	32,651	32,324	33,248	×	評価：軽油使用量の増加が響いてしまった
	%		△1	3		次年度：引き続き購入電力消費量を抑え、エコドライブに努める
ガソリン使用量の削減	リットル	3,940	3,900	3,245	○	評価：エコドライブの効果が出た
	%		△1	△17		次年度：エコドライブの強化
軽油使用量の削減	リットル	8,437	8,352	9,300	×	評価：クレーン作業時のアイドリング時間、走行距離が増えた
	%		△1	11		次年度：エコドライブの強化
廃棄物排出量の削減	Kg	2,540	2,514	366	○	評価：廃棄物の分別を徹底した
	%		△1	△85		次年度：引き続き解体選別の精度を高める
売上の増減に関係のない項目						
電力使用量の削減	kWh	8,896	8,807	8006	○	評価：猛暑や冬季のエアコンの使用量をおさえ、節電できた
	%		△1	△10		次年度：掲示物による節電再徹底及びクールビズ、ウォームビズの実施に積極的に取り組む
水道使用量の削減	m ³	70	69	69	○	評価：洗車回数を減らし削減を達成
	%		△1	△1		次年度：環境整備に気を付けながら、節水を心掛ける
トラック燃費の向上	km/l	6.9	6.96	5.8	×	評価：燃費向上につながらなかった
	%		1	△15		次年度：定期的にミーティングを開き、その強化を図る
グリーン購入の促進	品目	9/22	10/22	14/22	○	評価：適合品を購入し使用するだけなので比較的容易に達成できた
	%	40	43			次年度：22品目に対し目標である45%以上の購入となる10品目以上の導入を目指す

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の平成30年0.455kg-CO₂/kWhを使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

5. 環境関連法規遵守状況及び違反、訴訟等の有無

法令名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託 ・取引業者との委託契約締結 ・マニフェストの取り交わし ・水銀廃棄物の適正処理 	遵法
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃車時の処理費用負担 (自動車リサイクル券の購入) 	遵法
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定家電製品廃棄時の処理費用負担 (家電リサイクル券の購入) 	遵法
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・環境物品等の選択・購入義務 	遵法
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の定期点検 ・水質検査 ・清掃 	遵法
埼玉県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの推進 ・エコドライブの推進 	遵法

令和3年4月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

尚、過去3年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体の評価と見直し結果

本年度のエコアクション活動で一番明確となったのはトラック使用時の軽油使用量増加による二酸化炭素排出量の増加である。

結果として、軽油使用量、燃費ともに目標値に対し10%以上オーバーしてしまった。

原因として考えられることは二点。

ひとつは、物理的な問題になるがクレーン車を増台したことでクレーン使用時間つまりアイドリング時間が急激に増加し使用量が増えたこと。

もう一つは、エコドライブ講習など社員全員に直接、二酸化炭素排出削減の目標・目的を伝える機会を減らしてしまったこと。

これはコロナ禍ということで人を集めて会話する機会を減らしたということもあるが、オンライン会議など別の対策を打つことも考えるべきであった。

我々の職種ではトラック運転時使用する軽油使用量の削減が他のどんな項目よりも一番環境配慮に繋がることは明確だ。

だからこそ他のどの項目よりも軽油使用量削減、燃費向上にはこだわっていきたい。

そして最後に今年度結果により改めて分かったことは、従業員とのコミュニケーションを増やせば増やすほど、エコアクションの効果は得られるという点だ。

以前に説明したから大丈夫と安心しないこと。これを肝に銘じ来年度以降は定期的な講義を行うこととする。

環境経営方針及び実施体制については評価見直しの結果、次年度も同方針、同実施体制で進めることとした。

有価物

<h3>電線くず</h3> <p>注意</p> <p>①光ケーブルは「廃プラスチック」に分別してください</p> <p>②買取金額が大きく変わるため、なるべく同じ種類のケーブルに分別してください</p>	<h3>紙・ダンボール</h3> <p>注意</p> <p>次の場合は「廃プラスチック」に分別してください</p> <p>①ビニールや特殊な素材が付着している紙</p> <p>②使用済みのティッシュ、ちり紙</p>	
<h3>非鉄金属くず</h3>	<h3>鉄くず</h3>	<h3>ケーブルドラム</h3>

産業廃棄物

<h3>木くず</h3> <p>注意</p> <p>ケーブルドラムは「有価物」になります</p>	<h3>石膏ボード</h3> <p>注意</p> <p>その他廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>石膏ボードは数分ほどで溶解しますので利用をはかると必ず廃物が混ざっていると受け入れを拒否させていただきます。</p>	<h3>アスファルト・コンクリート</h3> <p>注意</p> <p>その他廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>アスファルト・コンクリートは数分ほどで溶解しますので廃棄後すぐに再生利用をはかると必ず廃物が混ざっていると受け入れを拒否させていただきます。</p>
<h3>金属くず</h3> <p>注意</p> <p>有価物か産廃、どちらかわからない場合は厚さで判断してください</p> <p>厚さ1mm未満 ⇒ 産廃</p> <p>厚さ1mm以上 ⇒ 有価物</p>	<h3>軽量廃プラスチック</h3> <p>注意</p> <p>その他廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>処分容量の高い軽量廃プラスチックはその他廃棄物を混ぜてしまうと、処分場では全て軽量廃プラスチックと判断させていただきます。</p>	<h3>底プラスチック</h3> <p>人工素材を使用して作られた容器や製品全般を指します。</p> <p>液状のものは除き</p> <p>『この表に載っていない』『判断が難しい』</p> <p>モノは全てこの底プラスチックに分別してください。</p> <p>回収の際、こちらで再度分別いたします。</p>